

授業科目名	疫学・統計学演習	科目番号	02EU604
単位数	3	担当教員	高橋秀人
授業時間	月曜日 or 金曜日 18:00～20:30	研究室	国立保健医療科学院 524室
科目の種類	春ABC, 秋ABC	メールアドレス	高橋秀人 takahashi.h.aa@niph.go.jp
標準履修年次	1年～3年	オフィスアワー	メールで予定確認の上、訪問すること

授業の到達目標	<p>(1)公衆衛生に関する社会統計の体系を説明できる</p> <p>(2)調査対象者, デザイン, 調査項目, および提示される集計データをe-statから抽出できる</p> <p>(3)必要に応じて, 社会統計から必要な情報に加工できる</p> <p>(4)必要な情報を得るために 信頼区間や, 検定を実施でき, 結果を説明できる</p> <p>(5)ICFの概念について説明できる</p> <p>(6)論文reviewができる</p> <p>(7)review結果からメタ解析によって結果を集約できる</p>
授業の概要	<p>(1)国際生活機能分類(ICF)を社会統計とするために行われている, 各国の取り組み, 日本の取り組みをreviewする.</p> <p>(2)日本の社会統計の中において質問票の中にICF項目に対応するものがあるかどうかを検討する.</p> <p>(3)WHO, UNの動向を整理する. 社会統計が実現できた国, 実現に近い国などについて, なぜその国がうまくいっているのかを調べる</p>

テキスト

参考図書

成績評価の方法

授業計画

回	担当教員	授業内容
1	高橋秀人	「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究reviewを通したディスカッション
2	高橋秀人	「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究reviewを通したディスカッション
3	高橋秀人	「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究reviewを通したディスカッション
4	高橋秀人	「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究reviewを通したディスカッション

- 5 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 6 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 7 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 8 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 9 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 10 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 11 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 12 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 13 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 14 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション
- 15 高橋秀人 「国際生活機能分類ICF (International of Classification of Functioning, disability and health)をどのように, 社会指標とするか?」に関する研究 reviewを通したディスカッション

授業科目名	疫学・統計学特別研究	科目番号	02EU605
単位数	3	担当教員	高橋秀人
授業時間	月曜日 or 金曜日 18:00～20:30	研究室	国立保健医療科学院 524室
科目の種類	春ABC, 秋ABC	メールアドレス	高橋秀人 takahashi.h.aa@niph.go.jp
標準履修年次	1年～3年	オフィスアワー	メールで予定確認の上、訪問すること

授業の到達目標

- 行政統計に関する研究について
- (1) 研究を立案できる
 - (2) 研究デザインを構築できる
 - (3) 研究計画書を作成できる
 - (4) 倫理申請書を作成できる
 - (5) データ解析できる
 - (6) 結果を提示できる
 - (7) 学会発表できる
 - (8) 論文を作成できる
 - (9) 研究費申請書を作成できる

授業の概要

- (1) 研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
- (2) 研究を前に進めるためのコメントする
- (3) 研究の進捗管理等

テキスト

参考図書

成績評価の方法

授業計画

回	担当教員	授業内容
1	高橋秀人	(1) 研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。 (2) 研究を前に進めるためのコメントする (3) 研究の進捗管理
2	高橋秀人	(1) 研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。 (2) 研究を前に進めるためのコメントする (3) 研究の進捗管理

- 3 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 4 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 5 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 6 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 7 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 8 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 9 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 10 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 11 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 12 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 13 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 14 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理
- 15 高橋秀人
(1)研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する。
(2)研究を前に進めるためのコメントする
(3)研究の進捗管理

授業科目名	生涯健康学演習	科目番号	02EU602
単位数	3	担当教員	横山 徹爾
授業時間	応談	研究室	国立保健医療科学院807室
科目の種類	演習	筆頭教員 メールアドレス	yokoyama.t.aa@niph.go.jp
標準履修年次	2・3	オフィスアワー	メールで予定を確認のうえ、訪問すること

授業の到達目標	<p>一般目標(GIO) 子どもから高齢者まで全てのライフステージを通じた個人の生活習慣及び社会環境の改善による健康の保持・増進と疾病予防の取り組みについて、地域の状況に応じて目標や計画等を設定できる能力を修得することを目的とする。</p> <p>到達目標(SBOs) 1) 国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向について説明できる。 2) 国民の健康の増進の目標に関する事項について説明できる。 3) 健康増進計画の策定に関する基本的な事項について説明できる。 4) 健康の増進に関する調査及び研究に関する基本的な事項について説明できる。 5) 健康増進事業実施者間における連携及び協力に関する基本的な事項について説明できる。 6) 食生活、運動、休養、飲酒、喫煙、歯の健康の保持その他の生活習慣に関する正しい知識の普及に関する事項について説明できる。 7) その他国民の健康の増進の推進に関する重要事項について説明できる。</p>
授業の概要	子どもから高齢者まで全てのライフステージを通じた個人の生活習慣及び社会環境の改善による、健康の保持・増進と疾病予防の取り組みについて学ぶ。
テキスト 参考図書	必要に応じて指定。
成績評価の方法	出席、レポート等による。

授業計画

回	担当教員	授業内容
1	横山徹爾	国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向
2～4	横山徹爾	国民の健康の増進の目標に関する事項
5～7	横山徹爾	健康増進計画の策定に関する基本的な事項
8～10	横山徹爾	健康の増進に関する調査及び研究に関する基本的な事項
11	横山徹爾	健康増進事業実施者間における連携及び協力に関する基本的な事項
12～14	横山徹爾	食生活、運動、休養、飲酒、喫煙、歯の健康の保持その他の生活習慣に関する正しい知識の普及に関する事項
15	横山徹爾	その他国民の健康の増進の推進に関する重要事項

授業科目名	生涯健康学特別研究	科目番号	02EU603
単位数	3	担当教員	横山 徹爾
授業時間	応談	研究室	国立保健医療科学院807室
科目の種類	個別研究指導	筆頭教員 メールアドレス	yokoyama.t.aa@niph.go.jp
標準履修年次	2・3	オフィスアワー	メールで予定を確認のうえ、訪問すること

授業の到達目標	<p>一般目標(GIO) 生涯健康学に関する具体的研究テーマについて博士論文を作成できるようになることを目的とする</p> <p>到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究を立案できる 2) 研究デザインを構築できる 3) 研究計画書を作成できる 4) 倫理申請書を作成できる 5) データ解析できる 6) 結果を提示できる 7) 学会発表できる 8) 論文を作成できる
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1) 研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する 2) 研究を進めるための議論を行う 3) 研究の進捗管理を行う
テキスト 参考図書	必要に応じて指定。
成績評価の方法	博士論文の進捗。

授業計画

回	担当教員	授業内容
1～15	横山徹爾	<ol style="list-style-type: none"> 1) 研究遂行上の課題に対し、準備してきた内容を確認し、進捗を共有する 2) 研究を進めるための議論を行う 3) 研究の進捗管理を行う

授業科目名	生活環境学演習	科目番号	02EU600
単位数	3	担当教員	牛山明
授業時間	春ABC 秋ABC 日時は応談	研究室	国立保健医療科学院 別館棟312室
科目の種類	演習	メールアドレス	牛山明 ushiyama.a.aa@niph.go.jp
標準履修年次	1～3年	オフィスアワー	メールで予定確認の上、訪問すること

授業の到達目標 生活環境中の物理的、化学的、生物学的な健康危害要因について理解し説明できる。

授業の概要 人々の健康は、保健医療分野のみならず、生活環境を含む様々な社会的決定要因によって大きく影響を受ける。この講義では対物保健課題を中心に、科学的エビデンスを得るとともに、科学的に発信する機会を学ぶ。あわせて、環境リスクに関するリスクコミュニケーションの技法について討議する。

テキスト 必要に応じて指定する。

参考図書 必要に応じて指定する。

成績評価の方法 発表、議論への参加、出席状況などを総合して評価する。

授業計画

回	担当教員	授業内容
1～15	牛山明	生活環境中の物理的、化学的、生物学的な健康危害要因について理解し、規制などの法的根拠、国際動向、社会動向を学ぶ。

授業科目名	生活環境学特別研究	科目番号	02EU601
単位数	3	担当教員	牛山明
授業時間	春ABC、秋ABC 応談	研究室	国立保健医療科学院 別館棟312室
科目の種類	演習	メールアドレス	牛山明 ushiyama.a.aa@niph.go.jp
標準履修年次	1～3年	オフィスアワー	メールで予定確認の上、訪問すること

授業の到達目標 生活環境学に関する研究について、研究の立案、実施、結果のとりまとめ、論文作成まで一貫して学び、博士論文を完成させる。

授業の概要 生活環境学に関する具体的研究テーマについて、博士論文作成の個人指導を行う。

テキスト 必要に応じて指定する。

参考図書 必要に応じて指定する。

成績評価の方法 発表、議論への参加、出席状況などを総合して評価する。

授業計画

回	担当教員	授業内容
1～15	牛山明	研究の進捗報告と、課題の抽出等の討議を行う。